

JAやつしろ自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域と共にJAやつしろは総合事業を展開します。

「農業所得の増大」と「農業生産の拡大」への更なる挑戦と「地域の活性化」の貢献に役職員一丸となり取組み、自立経営による総合事業が継続できるJAを目指します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力を合わせ、みんなの願いをかなえていく組織です。



- * JAは、農業者（正組合員）が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。
- * 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）などの様々な事業を営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。
- * 農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、地域農業の応援団として准組合員として加入いただいております。
- * 信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。
- * 正組合員（農業者）と准組合員（地域農業の応援団）の事業利用が、地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

＜JAやつしろの主な取り組みを3点紹介します。＞

1 農業所得アップを実現する取組み

営農指導員32名体制による営農相談の充実（営農改善費 3,600万円）
大口取引や低コスト商品の拡大による生産コスト低減による所得増大に取り組んでいます。

2 担い手農業者の支援への取組み

担い手組織への活動助成の取組み（組織育成費 7,800万円）
集落営農法人の設立や新規就農者への支援、外国人技能実習生受入支援にも取り組んでいます。

3 地域の活性化に向けた取組み

地区祭り、行政イベント等の特別協賛を行っています。（分担金 2,700万円）
生活文化事業、スポーツイベント活動の展開（くらしの活動 600万円）

※上記の金額は令和元年度の計画です。